

よしだ えいこう
吉田 栄光

福島県議会議員（5期）

昭和38年（1963）、浪江町生まれ。
自民党福島県連幹事長、福島県議会議長を歴任。
現在、自民党福島県連副会長も務める。

「必ず、ふるさと福島、双葉郡を取り戻す」。

震災翌年の夏、福島県議会の調査団の一員としてウクライナを視察。
その時覚悟を決めました。チェルノブイリ原発事故の教訓を、
福島の復興に生かすのが目的でしたが、誰も住んでいない廃墟^{はいきよ}となった町、
チェルノブイリを見たときの衝撃が忘れられません。

震災後は年に50回以上も上京、大臣たちに直訴したことも。

国や県と話し合い、信頼関係を築きながら厳しい決断をしてきました。
あの津波で家族や家を失った住民、その後の原発事故で避難を強いられた
住民の生きざまや、つらさ。すぐそばで見えてきた地元の議員としては、
復興を成し遂げること、これが最大の目標です。

私の浪江町にある自宅は帰還困難区域に指定されたので、
一時は福島市に身を寄せていました。今は浪江町の以前とは別の地区で、
家族とともに暮らしています。

故郷の変化を間近で見ながら、これからも一歩ずつ前進してまいります。

「福島県はあらゆる逆境に勝った地域」として、いつか国内外に発信していくことが
大切であり、無理をお願いし、幾重のご苦勞をおかけした住民の皆さんに
報いるためにも、私には力を結集して復興させる責任があるのです。



2011年7月、復興復興対策特別委員会にて